

生月まち協 だより

第48号

令和3年4月15日発行



生月地区まちづくり
運営協議会

TEL/FAX 0950-29-9080



令和2年度のベストショット！

まち協事務局にて勝手に『令和2年度のベストショット』を選出しました。

コロナ禍において、行事などが軒並み中止になった令和2年度…。

それでも小学校最後の思い出にみんなで描いた壁画の前でステキな笑顔を見せてくれた生月小学校の卒業生。子供たちの笑顔に癒され、元気をもらったこの写真を選びました！！

令和2年度 部会活動報告

地域づくり部会

- ・イルミネーション設置支援事業
- ・おさがり広場事業
- ・上場の杜公園植樹祭応援事業

イルミネーション設置支援事業では幻想的な光で彩られたいつもと違った御崎地区に魅了されました。上場の杜公園植樹祭は上場の杜公園管理組合と合同で行いました。つつじも咲き始めています。



産業振興部会

- ・生月漁港防波堤壁画製作事業

生月漁協・生月小学校・同小PTAと協力して行っている事業です。まち協は絵の拡大・切抜き作業などをお手伝いしました。今年は躍動感のある『シイラ』が描かれました。



生活環境部会

- ・ 児童遊園整備
- ・ 番岳参道整備作業
- ・ 自主防災組織活動事業助成金
- ・ 地区住民集団避難訓練
(各地区防災訓練)

今回初めて元触堺目牧野改良組合の方々と合同で『番岳参道整備作業』を行いました。また各地区の自主防災組織へ50,000円を助成し、防災への備えの充実を図りました。各地区において簡易テントやヘルメット、防災ベストの他、消火栓のホースや収納ボックスなど購入されてます。



健康福祉部会

- ・ 健康づくり支援及び健康診断受診率向上促進事業
- ・ 喫茶店きないよ開催事業

健康づくり・健康診断等に関する記事を会報に掲載して紹介しました。また毎月各公民館をまわりながら開催していた『喫茶店きないよ』ですが、コロナ禍にて令和2年度は2回の開催にとどまりました。

健康福祉部会の健康づくり情報

平戸市健康づくりポイント制度をご存じですか？
様々な健康づくりの取り組みで、1年間(4月～翌3月)に5ポイント以上貯めると『健康グッズ』がもらえるからです(1参加1ポイント)

【対象者】
■平戸市国民健康保険被保険者(40歳以上)
■後期高齢者医療制度被保険者

ポイントを貯める
健康(検)診を受けたり、健康づくりイベントに参加するなど、健康づくりに取り組んでポイントを貯める

ポイントを健康グッズと交換する
5ポイント貯まったら健康グッズを健診会場、結果説明会場、健康ほけん館、各支所出張所等に交換できます。

【7ポイント以上貯めると抽選で、市内ホテルのペア食事券が当たります!!】

第39号にて掲載分(他3回掲載)



中止や延期になった事業

- ・ 通学合宿支援事業
- ・ 絶景の道ハイキング開催事業
- ・ 夏祭り支援事業
- ・ いきつき勇魚まつり開催事業
- ・ かし品評会開催事業
- ・ フリーマーケット開催事業
- ・ ごみを拾いながら史跡を巡ろうウォーキング開催事業
- ・ 三世代交流グラウンドゴルフ大会開催事業



生月まち協 おさがり広場

おゆずり会を開催します！！

皆様よりご提供いただいた『おさがり』のおゆずり会を行います。

ベビーカーやチャイルドシートなどのベビー用品も充実！ぜひご来場ください。

🌱 日 時：令和3年4月24日(土)
午前10時から午後3時

🌱 場 所：生月地区まちづくり
運営協議会
(旧 生月保育所)

詳しくは
こちらの
チラシで！



※当日は新型コロナウイルス感染症予防のためマスク着用にてご来場ください。
また発熱や体調不良の方のご来場はお控えいただきますようお願いいたします。

コラム

八重桜 十重に二十重に 空覆う

先日、大村桜祭りへ行ってきました。新型コロナ感染症が未だ終息の気配がしない中各地でイベントが軒並み中止に追い込まれている状況での開催でしたので、今秋開催するいきつき勇魚まつりやそのほかのイベントの参考になればと行ってきたのです。

祭りは、あいにくの雨模様でしたが、開会式が始まると雨がピタッと止み市長さん達のあいさつの中にも安どの気持ちがあふれていました。主催者や市長さんのあいさつでは、各地でイベントの中止が続いていますが、大村市は対策をきちんと行い今後とも様々なイベント等を開催していきますとの言葉がありました。確固たる信念と自信にあふれていて、その前向きな姿勢に感じ入りました。

確かに新型コロナは大変怖くて勢い弱気になりがちです。しかし、共に生きていく方法はないのでしょうか。今から百年ほど前に大流行したスペイン風邪ですが、4年ほどで収束しています。その頃のことですから、ワクチンや特效薬ができたわけではないのです。それなのになぜか終息しています。おそらくは、付き合い方を学習し共存したのではないかと想像します。

我々の世界では、ワクチンも接種が始まりましたし遠からず特效薬も登場するでしょう。もうそこにトンネルの出口が見えてきました。だから今こそ、先人にならいコロナとの共存の道を模索しつつ思い切って一歩踏み出さなければならぬ時を迎えているのかなとこの旅で思いました。(学)